令和4年度　針尾小学校　学校経営グランドデザイン

PLAN

令和の日本型学校教育
GIGA スクール構想の具現化
学習指導要領
長崎県教育方針
佐世保市教育方針　　など

佐世保市教育大綱
新しい時代を生き抜くためのたくましさと豊かな心を育むとともに郷土佐世保を愛し，国家及び国際社会に貢献する市民の育成

DO

学校教育目標

一人一人が目標をもち，心豊かで主体的に学び続ける児童の育成

こんな学校に

○互いに鍛え合い，高め合う学校
- 共に汗を流し，共に喜ぶ体験活動
- 活気と感動のある学校

○一人一人のよさを伸ばす学校
- 落ち着いた学習環境
- 楽しく学び合う教室

○互いに認め合い，支え合う学校
- 一人一人が大切にされる学校
- けじめと礼儀を大切にする学校
- 挨拶と歌声が響く学校

こんな子どもに

○はりきる子
- 目標をもち，粘り強く取り組む子ども
- 新しいことに挑戦する子ども

○りかいする子
- 進んで学び，工夫する子ども
- よく聞き，自分で考え，発表する子ども

○おもいやる子
- 仲良く助け合う子ども
- さわやかな挨拶ができる子ども
- 美しい言葉遣いをする子ども

こんな教職員に

○子どもと共にある教職員
- 共に遊び，共に学び，共に汗し，共に喜ぶ教職員

○自ら学び続ける教職員
- 目標をもち，知性と感性と言葉を磨く教職員

○協働して実践する教職員
- 感謝と笑顔を忘れない教職員
- よさや違いを認め合う教職員

児童の課題
- 基礎学力の向上
- 学習意欲の情勢
- 主体性と自己肯定感の向上
- 基本的生活習慣の定着（家庭学習・読書習
- 個人差への対応

地域や保護者の願い
- 思いやりの心の育成
- いじめのない安心安全な学校
- きめ細かな支援
- 基礎学力の定着

PLAN

DO

はりきり玉をみがく

励まし合って，一人一人が自分をみがく

一人一人に目標をもって粘り強く取り組む体験を

（１）当たり前のことがきちんとできる子どもの育成

◎一徳運動の推進→針尾小の宝物を崩さない＋増やす指導

◆はっきり挨拶・返事　◆りっぱなくつ並べ　◆おもいやり言葉
→一歩進めて「笑顔であいさつ，整理整頓，感謝の声かけ，」

○心をみがく清掃活動の徹底
- がまん掃除→自律心と集中力の育成
- しんせつ掃除→多種多様な人との協働できる心の育成
- みつけ掃除→自主性・主体性の育成

（２）主体性を育む特別活動や総合的な学習

◎自治的活動の奨励→学級目標達成度の「見える化」
- 代表委員会・学級会を通して話合いの仕方を身に付けさせる
- 学校内・学級内の問題解決を図り，達成感を味わわせる

○仲間づくりを意識した活動の設定→全員遊び・集会活動の経験

○地域に学び，地域で生かす総合的な学習（生活科）
→他者理解・コミュニケーションスキルの向上
→夢・あこがれ・志につなげるキャリア教育

（３）家庭とともに育む基本的生活習慣（頑張るための土台）

◎健康的な生活リズムの習慣化
- 前頭前野の発達を促す働きかけ（睡眠・食事・コミュニケーション）
- 自分で自分を守る危機回避能力の育成（防犯・防災・食育・安全・メディア教育の充実）

○多様な運動と体力づくりの日常化→体幹を鍛える・心を鍛える
- 体力向上アクションプランの実施

りこう玉をみがく

みがく方法を身に付け，自分をみがき続ける

一人一人に「わかる」「できる」「考える」楽しさを

（１）学びに向かう集団づくり・習慣づくり

◎針尾スタンダード（学習上のルールとマナー）の定着

○安心して自分を表現できる支持的風土の醸成

○学習習慣・学習意欲・基礎基本の向上

（２）本気・熱中・共創・実感のある授業の実践

◎本気・共創・実感のある授業の実践（授業改善の視点）
① 子どもたちが**本気になって解決したくなる課題**の設定
② 子どもたちが**熱中し，共に創り上げる言語活動**の工夫
③ 子どもたちが**自己の変容や高まりを実感する振り返り**・評価
④ 阻害している原因の分析と的確な手立て
⑤ 学習の過程がわかる板書と掲示物（UD）

○学ぶための５つの土台（基礎力）の育成
- ◆よさや違いに気付く力
- ◆みんなでともに活動する力（協働・協力）
- ◆読み取る力（情報活用力・共感力）
- ◆考え，探求する力→比べる・調べる・まとめる方法の習得
- ◆聞く・書く・話す力→まず，型から（方法の指導）

（３）言葉を育む環境づくり

◎言葉への関心や興味を広げ，感性を育む掲示の工夫

○読書活動の推進（年間貸出冊数１５０００冊をめざして）

○美しい言葉を話す教師（授業中は，特に意識して）

おもいやり玉をみがく

支え合って，仲間とともに自分をみがく

一人一人のよさを伸ばし安心して発揮できる場所に

（１）あったか言葉・行動・環境による人権意識の醸成

◎あったか言葉・あったか行動→**「学級の絆」「共感力の向上」**
- 「～さん」，「ありがとう」を言う習慣づけ→感謝の声かけ
- 「おもいやりの廊下歩行」の徹底→「右側を並んで静かに歩く」

◎あったか環境
- **整理整頓**→安全への配慮＋学習の効率化
- ユニバーサルデザインを取り入れた板書・掲示（色使い）
- **子どもの努力と成長を認める作品掲示**

（２）互いに認め合い，高め合う仲間・絆づくり

◎一人一人に所属感や連帯感をもたせる学級経営

○委員会活動・係活動・ボランティア活動の充実→「利他の心」

○縦割り活動によるリーダーシップとフォロアーシップの育成

○全員を褒め合い，認め合う機会を→帰りの会・学級通信など

○早めの相談，みんなで解決・・・まずは職員から

（３）子どもの心を育む道徳教育の推進

◎学び合いを通じて価値を広げる道徳の授業

◆学び合いの焦点化
①自己肯定感の向上
②共感的理解の醸成（多様な考えの受容）
③建設的コミュニケーションスキルの育成
④規範意識の醸成
⑤実践意欲の向上

CHECK

評価指標：児童アンケート・保護者アンケート・各種学力調査結果・i-check 結果・自己評価など

ACTION